

# カルマンヤター

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダの 2018 年 6 月 24 日の美德

ガリマ・ボーワンカーによる解説

どの言語にも、とても豊かな意味を持つ言葉があります。学者たちが長い時間をかけて、そのさまざまな意味と言外の意味、そのニュアンスと繊細さを探り出すほどの言葉です。学者たちがこれを行うのは、これらの言葉のより完全な全体像を捉えるため、そしてその語を使うことが私たちの世界の見方をどう形作るかを理解するためです。

グルマーイは、2018 年 6 月 24 日の美德、カルマンヤターを与えました。これは美しい言葉であり、動的な言葉で、多面的な言葉で、たくさんの意味を持つ言葉です。そして、それは驚嘆すべき美德です。どのような時にも、完璧に当てはまります。それは、いつでも何をしている時にも、私たちの意識の中に携えるべき美德です。

カルマンヤターは、サンスクリット語とヒンディー語、両方の言葉で、他のどの言語においてもその意味をそっくりそのまま捉えることはできないかもしれません。それは人が行動を取る時に内側で持つべきバーヴ、すなわち態度のことを言っています。カルマンヤターが理解され、実行される時、私たちの行動はかすかに光ります。カルマンヤターという言葉の中に隠された意味のたくさんの層が明らかになり、それらの中には、勤勉さ、快活さ、強さ、真面目さ、誠実さ、そして忠実さがあります。

カルマンヤターは、技術と勤勉さをもって行動する人を表すサンスクリット語の言葉、カルマンヤに語源を持っています。『リグ・ヴェーダ』、『アタルヴァ・ヴェーダ』、『イーシャーヴァーシャ・

『ウパニシャッド』、『バーガヴァタ・プラーナ』、『アグニ・プラーナ』などの他、インドの多くの教典がカルマンヤターについて解説し、取るべき行動のあり方としてのカルマンヤターを称揚しています。カルマンヤターをもって行動することが生きるための唯一の方法であるとそれらの教典は断言しています。

表面上、カルマンヤターという言葉は、極めて行動指向的に見えるかもしれませんが。しかしながら、カルマンヤターという美德は外側の行動に歴然と現れるのと同じくらい、その内側深くに多くの繊細な資質も有しています。カルマンヤターは、熱意と忍耐、活動性と平和、活発さと沈着、活力と優しさの双方を包含します。忍耐のない熱意はその後に混乱を残すことがあり、優しさのない活力は他者を威圧することがあります。カルマンヤターがあなたの行動の中に存在するためには、行動の明白な、そして繊細なさまざまな意味があなたのやり方を成熟させ、あなたのものの見方と取り組み方に十分な成長をもたらすに任せなくてはなりません。

カルマ——行動——は、宇宙に生来備わっているものです。私たちが本能的に行っていると思うかもしれない、特定の行動があります。実際は、これらの行動は正確な意味においては、本能的ではないかもしれません。私たちはしばらく前からそれらをどのように行うかを学んで今まで長いこと行ってきたので、その行動が習慣的になったのです。それらはとても自然になったので、毎回行うことを意図的に考える必要はありません。

それから、これまで何回もやったことがあっても、行うたびに毎回大きな注意を払うことを求められる、世俗的と精神的、両方の行動があります。これらの行動は私たちの日常的なリズムの一部になっていたり、私たち自身の一部にさえなっていたとしても、私たちはそれでもそれを行うたびに、再度焦点を当てる必要があります。これらの行動の意図と目的に、何度も何度も戻る必要があります。

あなたが教師であろうと、料理人、建築家、あるいは僧であろうと、自分の役割のダルマを完全に果たさなければなりません。自分の仕事の目的を達成するために、自らの行動を監督しなくてはなりません。カルマンヤター ——その数え切れない、豊かな意味のすべて——は、意図と目的を持って取る行動に示されます。そしてただ普通の意図と目的だけでなく、他者に向けられる善意の性質のものもです。教師の意図は、この世界に還元するということの価値を生徒が学び、吸収し、彼らの中に染み込ませるのを確実にすることです。料理人は、おいしくて栄養があり、心を満たす食事を作るという意図を持って調理します。建築家は、そこで暮らしたり働いたりする誰かのための聖域を作るという意図と目的を持って建物を設計し建築します。僧は神や人類に奉仕することだけにひたすら集中できるように、世俗的な財産や地位への執着を放棄します。

カルマンヤターの知識なしに、ある行動がなされる時、何が起こるでしょうか。行動を起こす時、たいていの場合、私たちは何か見返りを期待します。見返り条件は、私たちの行動指針になります。何度この取引的な振る舞いで面倒なことに巻き込まれようとも、私たちは同じ筋書きを作り続け、同じパターンを追い続けます。私たちは決まり切ったやり方から抜け出すことが難しいと気づきます。そして、どうして物事は思った通りに行かないのかと混乱するのです。

このような時、私たちは自分自身に問い掛けなければなりません。あなたの行動に、その中に本来ある善意の目的が欠けているからでしょうか。あなたが他者の幸せを考えていないからでしょうか。これらの問いへの答えを見極めるには、自問と心からの熟考が必要です。

ここには微妙だが重要な理解すべき点があります。私たちはすべての外観からは、他者の利益になるように見える行動を取っているかもしれませんが、しかし、もしその行動を評価や称賛の言葉、またはその他の自分のための成果を得るといった欲望と結び付けていたら、私たちはカルマンヤターの精神を本当には体現していないのです。その一方で、それをするのが自分のダ

ルマだからという理由で、ある行動にただ臨むとき、私たちはカルマンヤターがその光るたくさんの層の中に持つすべてのものを取り入れていると、確信することができます。

『バガヴァッド・ギーター』の中で、クリシュナ神は言っています。

おまえには労働する権利はあるが、労働の結果への権利は無い。見返りのための行動に決して従事すべきでなく、また何もしないことを望むべきでもない。<sup>1</sup>

クリシュナ神のこの教えは単純でありながら深遠です。その意味はあなたの理解のすぐ上に浮かんでいるか、じれったいほどそばにあるのに、ほんのわずかのところで届かないように感じるかもしれません。それでも、この教えを完全な形で理解することができた時には、それがいかにあなたとすべての人間のための指針になり得るかが分かります。

あなたはこう考えるかもしれません。たとえこの教えに計り知れない力があつたとしても、実践するのがとても大変なのではないだろうか。あなたはこのように疑問に思うかもしれません。一体どうしたら自分の行動の結果から距離を置くことができるだろうか。自分が手に入れようとしているものが何か分かっていないのに、一体どうして行動を起こすことなどできるだろうか。見返りに何かを得るのは、私の当然の権利ではないだろうか。その通りです。この壮大な教えを理解し、明らかにするには、時間がかかるだろうことは事実です。

クリシュナ神が偉大な戦士、アルジュナに、自らの行動の結果に執着すべきでないと教えた時、アルジュナも混乱し、うろたえました。アルジュナは戦士であり、それゆえ彼のダルマは道義的に正しい戦争をすることでした。しかし、自分の親族への愛情のために、彼は自らのダルマが見えなくなっていました。彼は自分の敵を征服したくも打ち負かしたくもなかったのです。アル

ジュナが求めた結末は、彼らと戦争をしなくてもよい、というものでした。これは、彼が執着していた結果であり、それが彼に正しい行動を取ることを避けるように唆していたのです。

辛抱強く、クリシュナ神はアルジュナに教えを説き続けました。アルジュナの心に教えが入るようと、そしてアルジュナが必要とする教えをすべて学べるようと。神はアルジュナに、行うことが自分の義務である行動を常にすべきだと、言いました。神はアルジュナに、彼の行動の目的は、それがたとえ愛する人たちとの戦争を意味したとしても、ダルマすなわち正義を世界に復活させることだと説明しました。

もし、最初、この教えの真の意味を明確に理解することができなくても、落胆しないでください。あなたは熱意から、自分の行動の結果に執着しない境地をすぐに達成することを望むかもしれませんが。本当の仕事を必要とすることは、この境地へと向かって動くことです。それがあなたのサーダナーです。最初、もしその教えの本当の意味に共感できなくても、がっかりしないでください。教えのネクターは達成できることをいつも知っていてください。本当の仕事を必要とすることは、あなたの理解を洗練させることです。それがあなたのサーダナーです。

従って、あなたはそこに達することができる、あなたは少しずつクリシュナ神の教えの本質を理解し吸収し始めることができると、信じるのが非常に大切です。カルマンヤターの道に従う時、最初は、大いなる真理はちらっと見えるだけかもしれません。しかし、あなたが必ず知っておくべきであるように、何かと共にとどまる時、——あなたが自分の目的を達成するための努力に揺るぎない時——やがてあなたはその目的を実現します。それははっきりと現れるようになります。あなたの大いなる真理の体験は、それがちらっと見えることの積み重ねによって、より絶え間なく続くようになります。

ここに、カルマンヤターの美德を考慮に入れた時に何が起こるかを描写する例えがあります。どの芸術家も正しい技術を使って、作品の中の角度や線、色、質感が皆、確実に絵画の教科

書の規則か、あるいは先生から学んだことに従っているようにするかもしれませんが。そして、正しい技術を知り、適用する芸術家たちがいます——そして彼らのアートワークは見る人たちの心をつかみます。それは人々の頭脳を刺激します。彼らの作品には、魅力があります。

そう、あなたは絵画を持つことができます——あるいは、見事な絵画を持つことができます。

あらゆる行動の中に、カルマンヤターを取り入れてください。あなたとカルマンヤターの関係は、水と潤い、炎と光輝のような関係になるべきです。一つはもう一方なしに存在しないのです。

最後に、カルマンヤターの本質を見事に要約していると私が感じているグルマーイから聞いた言葉を、あなたに残したいと思います。

「もしあなたが、自分が満足する行動を取ることに、そしてそれをするによって自分のために多くを達成することに焦点を当てているだけなら、あなたは行動のヨーガの重要な点を見落としています。覚えていなさい。あなたの行動は、熟練した音楽家がドラムをたたく時の、大気を音楽で満たしながら反響する音の波のようであるべきです。あなたの行動の振動は、世界に善意を伝えるべきです」

### カルマンヤターについての確言

私が、行動の領域に足を踏み入れる時、カルマンヤターの意識を保ち続けられますように。

© 2018 SYDA Foundation®. 著作權所有。

---

<sup>1</sup> *Bhagavad Gita 2:47, in The Bhagavad Gita, introduced and trans. By Eknath Easwaran (Nogales, CA: Nilgiri Press, 2007).*